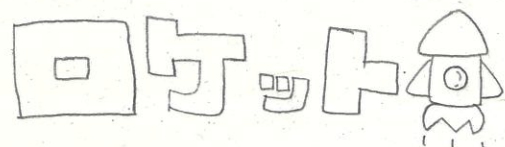


種子島の歴史・文化・自然について。

テーマ:(宇宙開発)

写真やイラスト及びその説明 / 場所(地図上に書き込み, 説明を書く)

※ 注意…単なる引き写しではなく、オリジナルテーマを追究し、面白い内容を目指すこと。



鹿児島県の種子島の東南端、
海外線に面している
「種子島宇宙センター」。

→ 種子島はJAXAが設置した日本最大のロケット発射場

「種子島ロケットセンター」がある、日本の宇宙開発の中心地!

海岸線に面した「世界-美しいロケット発射場」として知られ、
大型ロケット発射場や衛星組立棟などの設備があり、
人口衛生の打ち上げを行っている。

国産主力ロケットのH2Aの後継機であるH3ロケットの
打ち上げが行われている。

特徴

- ロケットを東向きに打ち上げることで、地球の自転速度を活かしてロケットの速度を速めることができる。
- 周囲のサゴ礁の海や山の緑と調和した景観から「世界-美しいロケット発射場」とも呼ばれている。
- 総面積約970万平方メートルにもおよぶ日本最大のロケット発射場。
- 人工衛星や探査機の打ち上げを担い、日本の宇宙開発において重要な役割を果たしている。

役割

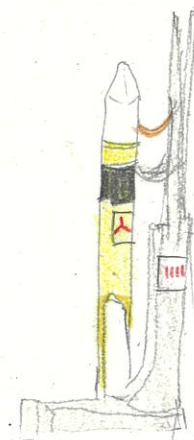
- 日本における宇宙開発の中心的な役割を担っており、人工衛星を打ち上げるための施設。

見学

- ロケット打ち上げ当日は立ち入り制限されるが、指定の見学場ではカウントダウン音声が流れる。

展示内容

- ロケット、人工衛星、国際宇宙ステーション、地球観測衛星、天体惑星など、宇宙開発の様々な分野について、実物大模型や体験展示を通じて楽しく学べる。



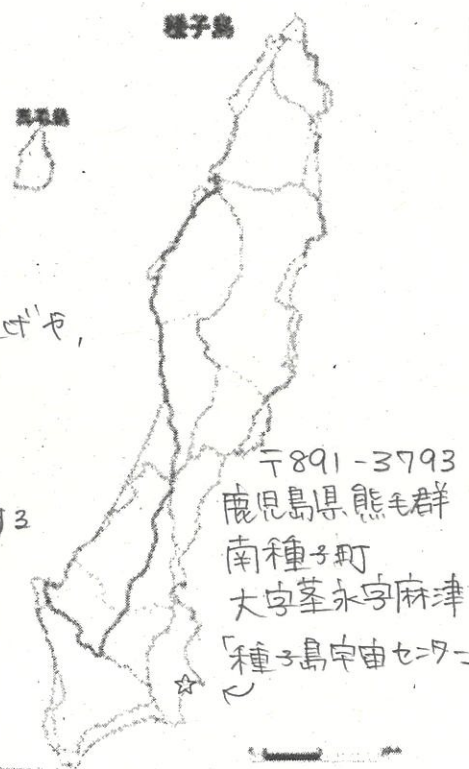
☆ H2Aロケット: 20年以上にわたって日本の主力ロケットとして運用されてきたが、2025年6月にH2Aロケット最終号機となる50号機の打ち上げをもって運用を終了し、H3ロケットへ移行した。

☆ H3ロケット: H2Aの後継機であり、現在打ち上げが行われている。

・種子島宇宙センター(1969年開設)は、日本の宇宙開発の歴史の中で重要な役割を果たしてきた。

・種子島は日本初の人工衛星打ち上げや、H-IIAロケットなどの数々の歴史的打ち上げの舞台となっている。

・日本の宇宙開発の発展を象徴する場所である。



※ 参考文献/出典(著者名, 書名, 出版社名, 出版年), HP(サイト名, URL)

(例)・井元正流『種子島』(春苑堂出版, 平成11(1999)年)

・西之表市役所HP (<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html>)

・JAXA | 宇宙航空研究開発機構
(<http://www.jaxa.jp>)

評価

A: オリジナルな見解が盛り込まれている。B: 一通り書けている。C: 不十分な分量・内容。